

ホームID	ホーム名		法人名			評価日		
2825	宝塚エデンの園		社会福祉法人聖隷福祉事業団			H28.12.27		
評価機関	あい・ライフサポートシステムズ					H29.2.3		
<b>評価結果</b>								
スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	A	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	A	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	A	A	6.2.4	非該当	非該当
1.2.1	A	A	2.3.8	A	A	6.2.5	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	A	6.2.9	B	B
1.3.3	A	A	2.4.2	A	A	6.3.1	A	A
1.4.1	A	A	2.4.3	A	A	6.3.2	A	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	A	A
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	A	A	3.1.1	B	A	7.2.1	B	A
1.4.6	A	A	3.1.2	A	A	7.3.1	B	A
1.4.7	A	A	3.1.3	A	A	7.3.2	A	A
1.4.8	A	A	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	A	A	4.1.2	A	A	7.4.4	A	A
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	A
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	A	A	5.1.1	A	A	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	A	A	7.5.5	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	A	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	A	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	A	A	6.1.1	A	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	A	A			
2.3.3	A	A	6.1.3	A	A			

【評価機関の所見】

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所 見
1-4-11-4-2	<p>「各階層に期待する基本的な役割」をしっかりと明示した上で、毎年自己申告書をもとに職員一人ひとりの意向を確認しています。更に、法人の「人材育成方針及び集合研修の基本方針」にある、職員一人ひとりが仕事の中に目標を持つことにより、法人の事業に主体的に参画するという「目標参画システム」を活用することで、個人目標を設定し目標達成に取り組み、更に達成度の評価を行うといった取り組みを行っています。「目標参画システムの効果」と題して「目標や方針の共有化」、「達成感・やりがいの実感」、「密接なコミュニケーション」、「仕事の重点化・効率化」を挙げ、それぞれの項目ごとに具体例を表記することで、職員一人ひとりにどのような効果が期待できるかを解りやすく指し示しています。又、「個人目標シート」を活用して目標を自ら自主的に設定し、「介護テクニカルラダーシート」を用いて能力評価を行った上で、年に3回面談を実施しています。更に、「コンピテンシー評価シート」を活用して人事考課へとつなげ、個人ごとにキャリアファイルを作成することで、上長が交代しても職員の意向の把握やどのような研修に参加して報告書を提出し次のステップに繋げていくかの管理ができる仕組みが整っています。</p>
2-3-3	<p>「入居者満足度調査」を年1回実施、食堂入口や各棟ごとにも意見箱を設置して入居者や家族からの提案や意見が聞き取れるよう取り組んでいます。更に、職員出入り口にも提案箱を設置し職員の提案も運営に反映させています。サービスの質を図る基準として、「品質マニュアル」を策定し、法人のCS推進室が中心となって年2回会議を開催しています。会議では半年ごとに策定される、各課ごとのサービス目標を評価、検討し、改善へとつないでいます。食事サービス課の取り組みとして、毎月テーマを決めて調理師による「料理対決」を行っており、入居者が食事を味だけでなく、見た目でも楽しみ、食欲へとつなぐことができるなど質の高いサービス提供ができるよう取り組んでいます。</p>
6-2-16-2-26-2-36-2-5	<p>6か月ごとにアセスメントを実施、入居者一人ひとりのニーズの把握に努めています。排泄の自立に向けた取り組みや身体状況に合わせた入浴支援、食事の自立に向けた支援、身体状況に合わせた機能訓練や寝たきりの方の閉じこもり予防など、支援記録と連動させることで細かくサービス内容へと落とし込んでいます。更に、ケアプランの長期・短期目標は期間をそれぞれ6か月と3か月とし、目標は本人・家族にも判り易く又、評価しやすく達成可能なものとなっています。6か月ごとに開催されるサービス担当者会議には他職種が参加しており、モニタリングは短期目標が明示されている独自のモニタリングシートを活用して毎月評価しています。自立に向けた個別のケアマネジメントがPDCAサイクルに則って実施され、評価を行った上でサービスの改善に向けた取り組みが実施されていることが個人ファイルで確認することができました。</p>
7-5-7	<p>入居者が参加する「棟別懇談会」で認知症への理解を深める必要があるのではないかとこの提案があり、「介護予防講座」と称して毎月テーマを決めて勉強会を開催しています。広いロビーを活用して介護居室や一般居室の方々が夕食を一緒に楽しむ催しが企画されたり、一般居室の方からの提案で「聖書の集い」に認知症の方々も参加されるなど交流の機会が持てるよう取り組んでいます。更に、一般居室の方が介護棟を訪問して趣味の三味線を披露されるなど、入居者の認知症への理解が深まっています。</p>
7-6-17-6-2	<p>協力医療機関として園内に診療所が設置されています。10か所の病院および宝塚市内の医院とは指定医療機関として随時、医療連携を図ることができる体制が整っています。診療所は入居者のみならず近隣住民も利用されていることで、法人理念「隣人愛」に基づき地域に根ざしたホームとなれるよう取り組んでいます。診療所には19床の入院設備が整い、24時間医師と看護師が常駐しています。ナースコールは必ず看護師が取り、状況把握を行った上で看護師や介護職などが訪室しています。更に、指定医療機関へは診療所の医師が紹介状を書き、職員が付き添って受診しています。入院となった際は職員が週に1回病院訪問を行い、病状の把握を行った上で、随時家族と連携を図ることができる仕組みとなっており、入居者や家族の安心感につながっています。</p>